

Improvement Of Teaching Methods(11)

入試選抜の採点

校長

平成 27 年度・平成 28 年度神奈川県公立高校入試選抜では試験の採点ミスがあり、本来合格だった受検生 2 人が不合格とされた事案が起きました。このような重大事案は本県だけでなく、東京都、大阪府、大阪市、兵庫県、岡山県、宮城県、熊本市などでも、近年の高校入試で採点ミスという事案が起っています。

採点は人間が行うかぎりヒューマンエラーは出てきます。しかしながらそれを点検等によってチェックし、間違いを直すことによって事故を防ぐことができます。今回の入試選抜においてマークシートの導入、別系統での採点・点検、ボーダー上下の再点検など、採点ミスを防ぐため、いままでになかった採点・点検方法で行うことにより、採点・点検のチェック体制が強化されています。本校でも入選のマニュアルである『入学者選抜 実施要項』が作成されました。そのマニュアルに従って採点・点検を行い、合格発表に臨みます。

平成 28 年 4 月、東京教育委員会が高校入試選抜後に抽出した解答用紙のなかから 306 件にも及ぶ採点ミスを発見したようです。東京都の『都立高校入試調査・改善委員会 報告書』には、「採点業務に対する意識や慣れは全ての業務に共通する」と記されています。採点ミスは、教職員の意識の問題が起因しているのは間違いありません。次に採点・点検上のポイントを記しておきました。万全の体制で入試選抜業務に臨みましょう。

- *採点・点検に対する意識を高めます。採点ミスが子どもの人生を左右しかねないことだと改めて認識してください。
- *少し疲れたと思ったら休憩をとるなど、リフレッシュします。
- *適正な時間をかけて採点・点検します。焦らない。別系統、他教科の進捗状況を気にしない。
- *記述採点者は必ず事前に問題を解き、正答や誤答、誤字等を事前に考えます。
- *個人の経験則の採点に頼らず、必ず教科で共通認識を持って採点・点検します。
- *加点すべき箇所、減点すべき箇所を共有し、忘れずに採点・点検します。
- *思い込み、先入観はダメ！人間は間違える生き物です。
- *教科のムードや声の大きい人に左右されない。
- *採点・点検中に基準の変更がある場合、一旦作業をとめて全員で基準変更の周知を図ります。
- *分からなかったり、不明確だったるときは入選委員、管理職に尋ねます。